

環境への取り組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、全ての生命体を育む健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、「環境に配慮した生産活動」、「技術・製品・サービスでの環境への貢献」、「社会との共生・協調」を環境経営基本方針として定め、社会的責任を果たすとともに、企業価値向上に努めています。

第7回 KOBELCO 森の童話大賞

次世代を担う子どもたちに、さまざまな自然の恵みをもたらす森を大切に作る気持ちを育ててもらうことを目的とし、全国の小学生、中高生から「森」をテーマにしたおはなしを毎年、募集しています。

2019年度の第7回は605件の応募をいただき、大川 蒼宙乃さんの「里山のジュース屋さん」(小学生の部)と、赤土 晴音さんの「おいしい森の作り方」(中高生の部)が金賞を受賞しました。金賞作品は絵本作家の挿絵で絵本化し、後援自治体所管の小学校・中学校・高校・特別支援学校・公立図書館等に、約2,000セット寄贈しました。



第7回金賞作品絵本

※詳細につきましては、当社ホームページの専用ページ (<https://www.kobelco.co.jp/mori-ohanashi/>) をご覧ください。



社会との共生

神戸製鋼グループは、未来を担う子どもたちの成長をお手伝いするため、様々な活動を行なっています。



小学校へ図書を寄贈

2006年度に設立した「コベルコ地域社会貢献基金」では、神戸製鋼グループの事業所・研究所が立地する地域の子どもたちを対象に、遊具や絵本、教材などを毎年寄贈しています。2019年度も、日本各地の神戸製鋼グループの複数の事業所や研究所が、地域の保育所への子どもの健康や安全に配慮した遊具の寄贈や、地方自治体の子ども向けイベントへの支援などの活動を実施しました。

また、当社が支援しているNPO法人「SCIX(シックス)」が考案した球技「スペースボール」を、近隣の小学生に体験していただく際のお手伝いをしています。「スペースボール」は、子どもたちの身体能力の向上やチームプレーの習得に適した球技で、2019年度は13校(約1,200名)に体験していただきました。13校の皆様には、スペースボールの体験とあわせて、当社が運営している



スペースボールを体験する子どもたち

地域交流施設「灘浜サイエンススクエア」もご見学いただきました。

神戸製鋼グループは、今後もこうした活動を継続し、社会との共生を図っていきます。



▶ 関連リンク

当社ホームページでは、「神戸製鋼グループ 統合報告書2019」等で、さらに詳しい情報を掲載しています。
(QRコードを読み取っていただくと、統合報告書ウェブサイトへアクセスできます。)



グループ企業理念

KOBELCOが実現したい未来	「KOBELCOの使命・存在意義」の実行を通じて実現したい社会・未来	安全・安心で豊かな暮らしの中で、今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。
KOBELCOの使命・存在意義	神戸製鋼グループの社会的存在意義であり、果たすべき使命	個性と技術を活かし合い、社会課題の解決に挑みつづける。
KOBELCOの3つの約束	神戸製鋼グループの社会に対する約束事であり、グループで共有する価値観	1.信頼される技術、製品、サービスを提供します 2.社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます 3.たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します
KOBELCOの6つの誓い	「KOBELCOの3つの約束」を果たすために品質憲章とともに全社員が実践する行動規範	1.高い倫理観とプロ意識の徹底 2.優れた製品・サービスの提供による社会への貢献 3.働きやすい職場環境の実現 4.地域社会との共生 5.環境への貢献 6.ステークホルダーの尊重